

学校長式辞

開花のたよりこそまだ聞かれませんが、暖かい日差しに古城の門の桜の蕾も膨らみ、春の訪れを実感する季節となりました。

本日はご来賓の皆様のご臨席を賜り、また、この佳き日を迎えてお慶びの保護者の皆様のご同席を得て、入学式を挙行できますことを、新入生とともに職員一同、厚く御礼申し上げます。

さて、只今入学を許可いたしました、全日制281名、定時制27名の新入生みなさん、本校へのご入学、おめでとうございます。保護者の皆様、お子様の御入学心からお祝い申し上げます。

上田高校は、西暦1900年に長野県上田中学校となって以来、今年126期の新入生となる皆さんを迎えた、歴史と伝統のある高等学校です。

平成27年からは、スーパー・グローバル・ハイスクール、令和2年からは信州WWLコンソーシアムの拠点校として

文部科学省の指定を受け、イノベータータイプなグローバルリーダーの輩出を目標に、探究的な学び、国際的な学びにより、長野県をリードする先進的な教育を行っております。

また、定時制は県内でも最大級の生徒数を擁していますが、一人一人の生徒の希望により沿う、丁寧できめ細やかな指導で東信地域に広く定評のあるところです。

さて、そのような本校に入学してきた新入生みなさん、高校生活への期待で胸を膨らませていることでしょう。本日は、高校生活の心構えを二つお話したいと思います。

一つ目は、「自分の使命」について考えてほしいということです。使命なんて、まだ高校生だし、そんな大それたこと、考えられない、と思うかもしれませんが。この4月から放送が始まったZエスの朝ドラ「アンパン」ではアンパンマンの作者やなせたかしさんとその奥様のぶさんの生涯が描かれるそうです。私がアンパンマンを知るようになったのは、子どもと一緒に見るようになってからですが、まだ2、3歳の子どもとテレビを見ているとき、「何のために生まれて何をして生きるのか」と、アンパンマンのマーチが聞こえてきまし

た。驚愕しました。「2歳の子にそれを問うか？」もちろん2歳の子がこたえられる問いではありません。でもその問いの答えを考え続けることはとても大事なことです。小さな子どもの頃からその「問い」の種を心に植え付けて考え続けてほしい、というのがやなせたかしさんの願いだったのだろうと思います。

高校時代はちょうど子どもから大人になる時期にあたります。3年生の十八歳になれば成人です。ですから、高校生活のなかで、様々な体験をし、様々な学びを経て、「自分は何者でどのような使命を持っているのか」「大人になってどのように社会に貢献し、役割を果たしていくか」を考えてほしいと思います。

人は一人一人個性も興味関心も考え方も異なります。ですが、よりよい社会を作るためには多様な個性を生かしてともに協力していくことが大切です。それはつまり、だれにでも果たすべき役割、つまりは使命があるのだということです。自分と向き合って自分が何に興味があるのか、自分はどのような人間でどのような使命を果たしていくのか、折に触れて

考えてほしいと思います。

二つ目は「挑戦」ということです。校歌には、「我に至剛の誇りあり いざ百難に試みむ」という歌詞があります。自分にはとても強く正しい誇りがある さあ、周到に準備をして困難に挑戦しようではないか。ということです。

挑戦と言ったら、すごく大きなことに聞こえるかもしれませんが、特別何か大げさに考える必要はありません。日常もまた挑戦です。学習に取り組むことや班活動との両立、苦手なことをやってみることも挑戦と言えるでしょう。どのようなことでも、自分で挑戦のテーマを決めて心を定め、周到に準備をして果敢に挑んでほしいと思います。それが、「いざ百難に試みん」というスクールアイデンティティなのです。中学校を訪問した時、どうして上田高校に来たいのですかと中学生の皆さんに聞いてみました。「大学進学を考えているので」という答えが結構ありましたが、残念ながら上田高校は予備校ではないので、大学進学のための勉強だけをしているわけではありません。もっともっと大事なことを3年間あるいは4年間で学んでほしいと思います。学ぶ中で、例え

ば特定の教科をもっと極めてみたいとか、震災のボランティアに行ってみたい、とか海外留学してみたい、ゲーム開発してみたい、などたくさん興味も湧いてくるかもしれません。そのようなワクワクの種に出会ったなら、「まだ高校生だから」と二の足を踏むのではなく、ぜひ挑戦してもらいたいと思います。

3年あるいは4年の高校生活は、自らの強い意思で主体的に学び、行動し、友人と切磋琢磨して高め合い、挑戦する日々になることでしょう。その中で自分の使命は何か、この問いを時折、自分に問いかけながら、高校生活を充実させてほしいと願うばかりです。

保護者の皆様、本日はまことにおめでとうございます。

今日のお子様の様子を見て、ほんの少し前まではいいしていたのに、すっかり大きたくましくなって、やはり高校生らしくなったと感じておられることでしょう。これからの三年間ないし四年間の生活の、今日は出発点にあたります。上田高校は全力で生徒一人一人に向きあい、サポートしてまいります。学校は常に情報をしっかり発信し、ご家庭との連携

を密にして教育を進めてまいります。ご心配なこと、ご不安なことは、遠慮なく学校にご相談ください。ご協力をお願い申し上げます。

最後に、本日入学した生徒諸君の高校生活が充実したものになるよう重ねて祈念し、合わせてご臨席の皆様へ篤く御礼申し上げます、式辞といたします。

令和七年四月五日

長野県上田高等学校長 宮下 美和